

日本アジア投資株式会社
2022年3月期 第3四半期
決算補足資料

決算発表日：2022年2月14日

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。
- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。
- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括	P4
2. 当四半期の実績（前年同期比較）	P5
3. 業績予想	P10
4. 営業活動の状況	P13
5. 参考情報	P16

✓ 当四半期の実績（前年同期比較）

- 営業収益1,752百万円(△11.4%)、最終赤字△207百万円(154百万円赤字幅縮小)
- 未上場株式の売却減少、売電収入の減少により減収
- 上場株式の売却益の増加、評価損・投資損失引当金繰入額の減少により赤字幅縮小

✓ 業績予想

- 通期の業績予想に変更なし
- 第4四半期に、1件のメガソーラープロジェクトの売却、国内上場株式の売却、未上場株式のM&Aによる売却益を見込む

✓ 営業活動の状況

- IPO実績3社
2021年12月、プロジェクト投資での協業を通じて積極的な支援を行ってきたリニューアブル・ジャパン(株)がIPOを達成
- 地域金融機関と連携した障がい者グループホームプロジェクトが累計10件まで拡大、パートナー企業のソーシャルインクルー(株)の成長を支援

2. 当四半期の実績（前年同期比較）



ハイライト

P6

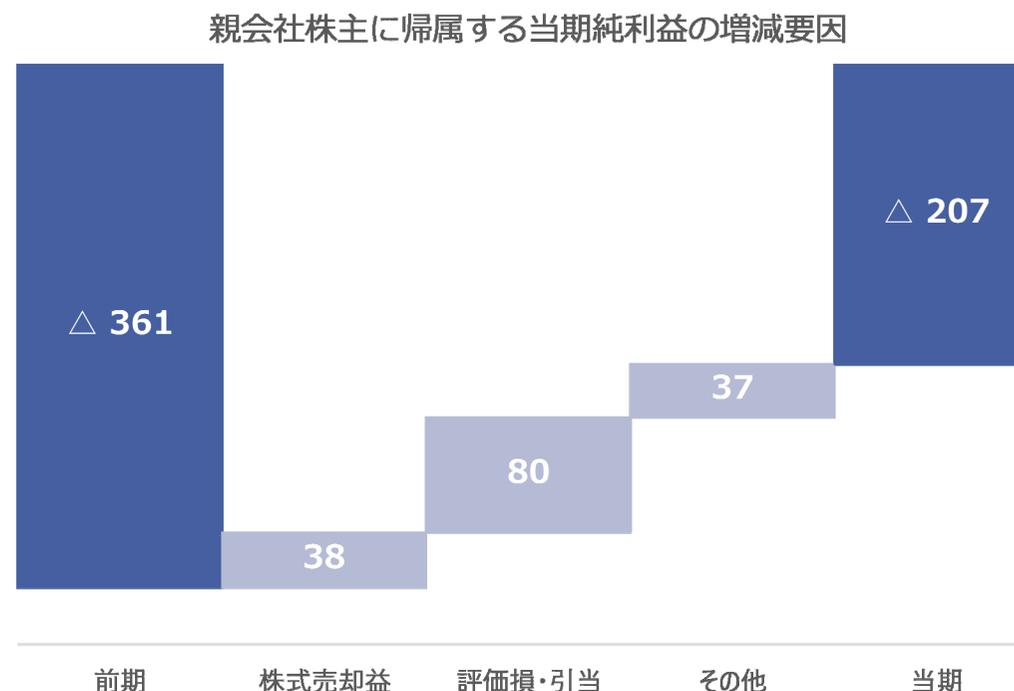
営業収益・営業原価内訳

P9

2. 当四半期の実績－ハイライト P/L



(単位：百万円)	2021/3期 3Q	2022/3期 3Q	
	実績	実績	
	金額	金額	増減率
営業収益	1,978	1,752	△11.4%
営業原価	1,470	1,030	△30.0%
営業総利益	507	722	42.3%
販管費	819	838	2.4%
営業利益	△311	△116	-
経常利益	△335	△116	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△361	△207	-



✓ 減収要因：

- 前期と比較して売却した未上場株式が小型であったため、株式売却高が減少
- 前期に一部の売電中メガソーラープロジェクトを売却したため、売電収入が減少

✓ 赤字幅縮小要因：

- 利益率の高い上場株式の売却が前期と比較して増加したため、株式売却益が増加
- 比較的投資残高の少ない投資先企業への引当が中心だったため、評価損や投資損失引当金繰入額が減少

2. 当四半期の実績－ハイライト B/S



(単位：百万円)	2021/3期末	2022/3期(3Q)末		
	金額	金額	増減率	主な増減要因 (単位：億円)
総資産	14,657	14,124	△3.6%	
うち 現預金	3,699	2,423	△34.5%	返済△10、投融資△20、費用等△7、回収+25
うち プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金)	5,583	↑ 6,179	10.7%	投融資実行+14、分配・売却△8
うち 戦略投資 (営業投資有価証券)	1,155	↑ 1,810	56.7%	投資実行+3、含み益+3
うち フィナンシャル投資 (営業投資有価証券(引当後))	3,111	3,007	△3.4%	投資実行+1、分配・売却△2
借入金	6,950	↓ 5,943	△14.5%	返済△10
自己資本	7,338	7,449	1.5%	利益△2、含み損益+3

- ✓ フィナンシャル投資からプロジェクト投資・戦略投資への資産入替が進行中
- ✓ 将来の成長に向けた投資資金を確保した上で借入金を返済し、残高を着実に圧縮

2. 当四半期の実績－ハイライト C/F



(単位：百万円)	2021/3期 3Q	2022/3期 3Q
営業活動によるCF	1,591	↓ △542
投資活動によるCF	18	117
財務活動によるCF	△1,216	△1,007
CF増減額	383	△1,409
期末残高	3,107	1,891

✓ 営業CF：投融資の実行が進捗したことからマイナスに転じた

2. 当四半期の実績－営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2021/3期 3Q	2022/3期 3Q	2021/3期 3Q	2022/3期 3Q	2021/3期 3Q	2022/3期 3Q
営業収益	1,978	1,752	1,271	↓ 1,008	707	↑ 744
管理運営報酬等	126	119	120	↓ 113	5	↑ 5
営業投資有価証券売却高	1,615	1,501	1,059	↓ 844	556	↑ 657
組合持分利益・イカゲイ等	198	91	84	↓ 40	113	↓ 51
その他営業収益	38	39	6	↓ 9	32	↓ 29
営業原価	1,470	1,030	959	↓ 444	511	↓ 585
営業投資有価証券売却原価	937	776	519	↓ 266	418	↓ 509
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	218	139	218	↓ 139	-	-
組合持分損失等	308	107	217	↓ 35	90	↓ 71
その他営業原価	5	7	3	↓ 2	2	↓ 4
営業総利益	507	722	312	↑ 563	195	↓ 159

- ✓ プライベートエクイティ投資：減収・増益
 - 営業収益（売却高）：前期と比較して売却した未上場株式が小型であったため減少
 - 営業原価（売却原価）：利益率の高い上場株式の売却が中心となったため原価が減少し、売却益が増加
（評価損・引当金）：比較的投資残高の少ない銘柄が中心となったため減少
- ✓ プロジェクト投資：増収・減益
 - 営業収益（売却高）：売却件数の増加に伴い増加
前期：カソーラー1件、当期：カソーラー1件、ディストリビューションセンター1件（一部売却）
（組合持分利益）：前期に売電中のプロジェクト外の一部を売却したため減少

3. 業績予想



業績見込値の詳細 P11

将来に関する記述等についてのご注意 P12

3. 業績予想－業績見込値の詳細



単位：百万円	2022/3(3Q) 実績	通期見込 (期初発表数値)	
	金額	金額	進捗率
営業収益	1,752	2,950	59.4%
営業原価	1,030	1,320	78.0%
営業総利益	722	1,630	44.3%
販管費	838	1,120	74.9%
営業利益	△116	510	-
経常利益	△116	430	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△207	340	-

- ✓ 通期業績見込みの修正なし
- ✓ 第4四半期に1件のメガソーラープロジェクトの売却と、国内上場株式の売却、未上場株式のM&Aによる売却益を見込む

3. 業績予想－将来に関する記述等についてのご注意

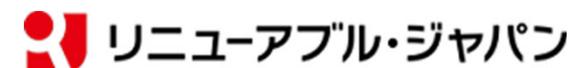


- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

IPO実績 P14

障がい者グループホームプロジェクトの進捗状況 P15

4. 営業活動の状況 – IPO実績



会社名	ワンダープラネット株式会社
事業内容	エンターテインメントサービス事業
上場日	2021年6月10日
上場市場	東京証券取引所マザーズ
URL	https://wonderpla.net/

株式会社ラストワンマイル
インサイドセールス等を活用した新電力、新ガス、インターネット回線等のインフラサービスの取次販売および自社サービス「まるっとシリーズ」の提供
2021年11月24日
東京証券取引所マザーズ
https://lomgrp.co.jp/

リニューアブル・ジャパン株式会社
<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー発電所開発、運営事業 当社のメガソーラープロジェクトのパートナー企業
2021年12月22日
東京証券取引所マザーズ
https://www.rn-j.com/

- ✓ 投資先企業からのIPO実績は3件
- ✓ リニューアブル・ジャパンは、7社の「戦略投資先」からの第1号IPO
当社が近年注力してきた、プロジェクト投資のパートナー企業に対してプロジェクトでの協業を通じた積極的な支援を行う「戦略投資」の成果

4. 営業活動の状況－障がい者グループホームプロジェクト



social inclu
 パートナー企業：
 ソーシャル
 インクルー(株)

オペレーター



グループ
ホームの運営

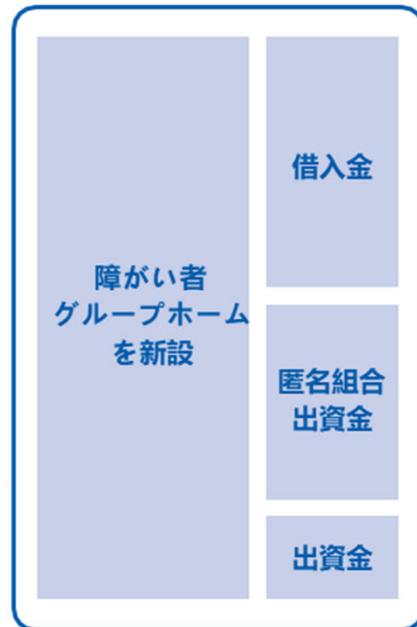
アセットマネージャ



ファンド
の運営

ファンドのスキーム図

合同会社GHプロパティ



ノンリコースローン

金融機関



商工中金

投資家

SL 昭和リース

JAIC
日本アジア投資株式会社

ユニ・アジアインベ
ストメント株式会社



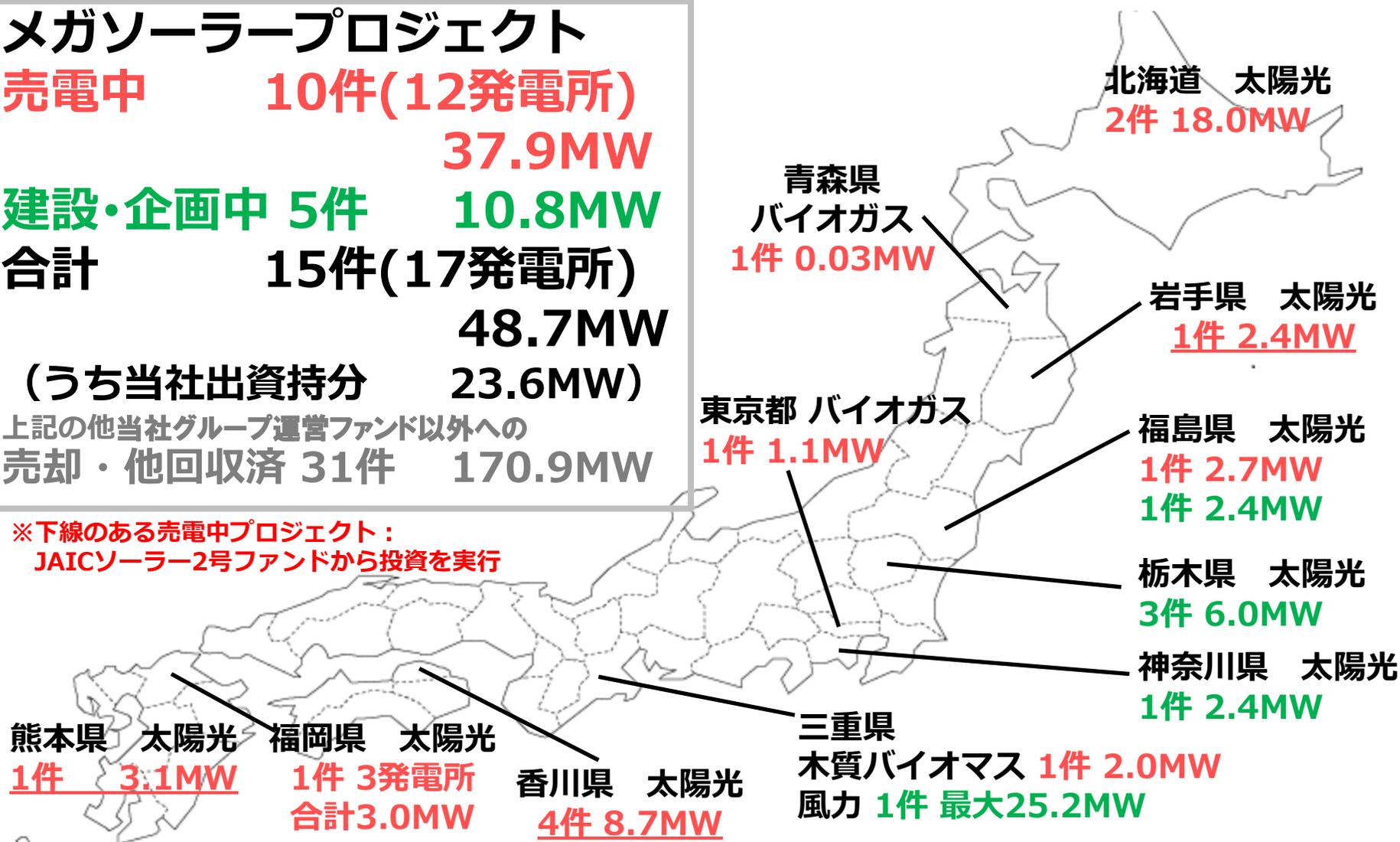
- ✓ 地域金融機関との連携強化により開発スピードが加速・対象地域が拡大
累計10件のプロジェクト開発実績
- ✓ 2021年8月に障がい者グループホームの開発・運営ファンド「合同会社GHプロパティ」に
昭和リース(株)、ユニ・アジアインベストメント(株)と共同で出資
2021年11月に(株)商工組合中央金庫が不動産ノンリコースローンの融資枠を開設
- ✓ グループホームの運営は、パートナー企業であるソーシャルインクルー(株)が担う
プロジェクトの規模拡大が同社の成長支援となる投資戦略

再生可能エネルギープロジェクト一覧	P17
プロジェクト投資 案件一覧	P18
戦略投資先企業一覧	P21
アジアネットワーク	P22
主要データの推移	P23
営業収益・営業原価 内訳	P25
投資領域	P26
JAICの強み	P27
収益構造	P28
SDGsへの取り組み	P30
会社概要	P31

メガソーラープロジェクト

売電中	10件(12発電所)	37.9MW
建設・企画	5件	10.8MW
合計	15件(17発電所)	48.7MW
(うち当社出資持分)		23.6MW
上記の他当社グループ運営ファンド以外への 売却・他回収済	31件	170.9MW

※下線のある売電中プロジェクト：
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2021年12月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町 (※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所 (※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク (※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所 (※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	福島県	2.4	建設・企画	32
	9	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	10	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	11	神奈川県	2.4	建設・企画	32
	12	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36
	13	栃木県	2.0	建設・企画	36
	14	栃木県	2.0	建設・企画	32
	15	栃木県	2.0	建設・企画	32
合計 48.7MW (うち当社出資持分 23.6MW)					

※：JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2021年12月末)



プロジェクト種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-
バイオガス発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中 (2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	-
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39
風力発電		三重県	最大25.2	建設・企画中	22

プロジェクト投資 案件一覧-3 (2021年12月末)



プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	操業中（既設部分2019年3月稼働、増設部分2022年5月本格稼働予定）
高齢者向け施設	1	東京都江東区東雲	8階建複合施設 定員100名	建設・企画
	2	東京都港区南青山	5階建 定員61名	建設・企画
障がい者グループホーム	1	静岡県浜松市	入居者用20部屋、短期入所用2部屋	営業中（2020年8月営業開始）
	2	栃木県宇都宮市	同上	営業中（2021年9月営業開始）
	3	広島県広島市	同上	営業中（2020年8月営業開始）
	4	埼玉県加須市	同上	建設・企画
	5	茨城県古河市	同上	建設・企画
	6	群馬県館林市	同上	建設・企画
	7	埼玉県川越市	同上	建設・企画
	8	栃木県佐野市	同上	建設・企画
	9	群馬県太田市	同上	建設・企画
	10	香川県高松市	同上	建設・企画
物流施設	1	埼玉県越谷市	延床面積 11,250m ² 、地上4階建	営業中（2021年10月竣工）
	2	神奈川県厚木市	延床面積 10,890m ² (予定)、地上2階建	建設・企画
	3	神奈川県海老名市	未定	建設・企画
	4	埼玉県日高市	延床面積約 15,123m ² 、地上4階建	建設・企画
	5	非公開	非公開	建設・企画
商業ビル		愛知県	敷地面積 1,752m ² 、地下1階地上6階建	営業中（既存ビルへの投資）

その他1件のプロジェクト投資あり。

戦略投資先企業一覧



リニューアブル・ジャパン株式会社

メガソーラープロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2015年
2021年12月22日 東証マザーズ上場



スマートソーラー株式会社

メガソーラープロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2017年



ソーシャルインクルー株式会社

障がい者グループホームプロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2019年



株式会社森久エンジニアリング
株式会社モーベルファーム
(株)森久エンジニアリング子会社)

スマートアグリ(野菜)プロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2019年



MD-Farm株式会社

スマートアグリ(イチゴ)プロジェクトのパートナー企業

初回投資時期 : 2019年



KICホールディングス株式会社

ディストリビューションセンター(物流施設)投資のパートナー企業

初回投資時期 : 2020年

アジアネットワーク



【瀋陽】（ファンド出資者）

- ・瀋陽市渾南新区市政府（協力協定先）
- ・瀋陽高新技术産業開発区
- ・瀋陽万科企業有限公司

【天津】（ファンド出資者）

- ・天津エコシティ

【煙台】（提携先）

- ・煙台市政府（当社代表が新興産業国際顧問に就任）
- ・煙台市投資促進センター（協力協定先）

【青島・山東半島藍色経済区】（提携先）

- ・藍色経済区産業ファンド（戦略的提携先）
- ・青島市政府（当社が国際投資促進顧問に就任）

【青島】（協力先）

- ・中国青島（日本）商工センター

【成都】（提携先）

- ・成都高新技术産業開発区管理委員会（協力協定先）
- ・上海利暘文化科技發展有限公司（協力協定先）

【西安】（提携先）

- ・西安高新技术産業開発区（協力協定先）

【武漢】（提携先）

- ・武漢市商務局（協力協定先）

【蘇州】（100%子会社）

【瀋陽】（100%子会社）

【天津】（100%子会社）

【上海】（100%子会社）

【日本】（提携先）

- ・(株)アジアマーケット企画
- ・AIS CAPITAL(株)

【上海】（ファンドの共同運営）

- ・サイバーエージェント・キャピタル

【香港】（株主・提携先）

- ・First Eastern Investment Group

【ハノイ・ホーチミン】

- ・Vietnam Maritime Commercial Joint Stock Bank（提携先）
- ・(株)ワールド・リンク・ジャパン（協力先）

【バンコク】（提携先）

- ・KT Zmico Securities Company Limited
- ・VNET Venture Capital Management Securities Co.,Ltd.

【シンガポール・マレーシア・インドネシア】協力先

- ・BA Partners Pte.Ltd.（当社OB運営会社）
- ・Lingua Franca Holdings Pte.Ltd.（当社OB運営会社）

主要データの推移 ①



・ファンドの状況、投資の状況

(単位：百万円)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3(3Q)	22/3(3Q)
ファンド設立・増加額	500	1,000	2,000	1,359	151	151	1,001
ファンド運用残高 ※1	28,753	19,150	16,494	17,390	16,450	16,059	16,091
うち 当社グループ出資額 ※1	9,427	5,867	5,344	5,163	5,434	5,268	4,805
投資/融資実行額 総額 ※2	4,315	3,887	3,749	3,374	1,767	877	2,909
投資/融資残高 総額 ※2	16,558	13,981	13,951	15,101	12,855	12,944	14,623
投資/融資実行額 プロジェクト投資※2	3,184	2,681	3,612	2,150	1,445	635	1,427
投資/融資残高 プロジェクト投資※2	4,576	3,582	5,514	6,696	6,088	5,742	6,787
投資/融資実行額 プライベートエクイティ投資※2	1,131	1,205	136	1,224	322	242	1,482
投資/融資残高 プライベートエクイティ投資※2	11,981	10,398	8,437	8,405	6,767	7,201	7,836

※1 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

※2 当社グループによるプロジェクトに対する融資実行が増加したため、2021年3月期より、プロジェクトに対する融資（破産更生債権等を除く）を含めています。

主要データの推移 ②



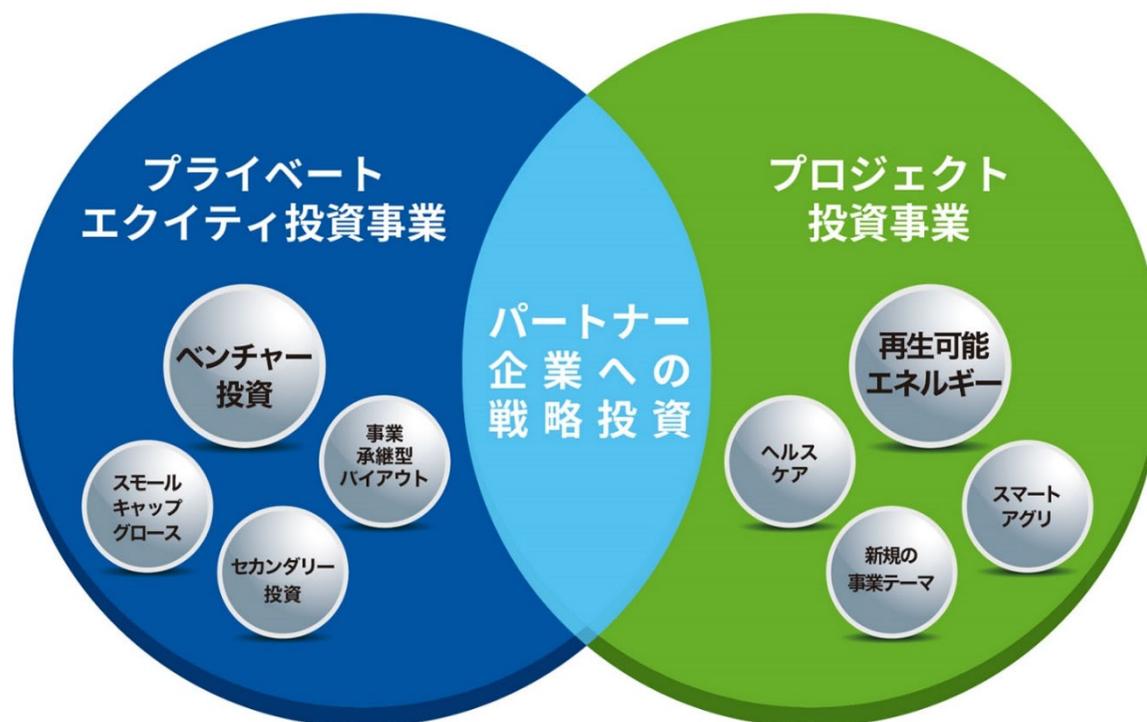
・業績、財務状況

(単位：百万円)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3(3Q)	22/3(3Q)
業績							
営業収益	3,926	5,403	2,475	2,760	3,089	1,978	1,752
営業総利益	2,176	2,328	1,286	1,359	1,301	507	722
販売費及び一般管理費	1,339	1,311	1,109	1,094	1,086	819	838
営業利益	836	1,017	177	265	214	△311	△116
経常利益	726	954	83	140	173	△335	△116
親会社株主に帰属する当期純利益	553	874	578	302	144	△361	△207
財務状況							
現預金	6,213	7,308	5,564	3,920	3,699	4,103	2,423
営業投資有価証券・貸付金（プロジェクト投資）	4,081	3,582	5,514	5,437	5,583	4,551	6,179
営業投資有価証券（戦略投資投資）	100	373	373	1,005	1,155	1,190	1,810
引当後 営業投資有価証券（フィナンシャル投資）	7,256	5,657	4,765	4,282	3,111	3,133	3,007
借入金	14,128	11,954	9,784	8,166	6,950	6,950	5,943
自己資本	5,686	6,545	6,840	7,223	7,338	6,785	7,449
総資産	20,305	19,220	17,305	15,800	14,657	14,028	14,124

営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)		17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3(3Q)	22/3(3Q)	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	管理運営報酬等	364	277	241	199	169	126	119	△5.4%
	成功報酬	101	86	-	-	-	-	-	-
	営業収益	466	364	241	199	169	126	119	△5.4%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	466	364	241	199	169	126	119	△5.4%
2.	投資業務								
	営業投資有価証券売却高	2,275	3,219	1,746	2,349	2,221	1,615	1,501	△7.0%
	組合持分利益・インカムゲイン等	1,159	1,677	429	172	648	198	91	△53.6%
	営業収益	3,434	4,897	2,176	2,521	2,870	1,813	1,593	△12.1%
	営業投資有価証券売却原価	1,423	2,469	554	965	1,249	937	776	△17.2%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	274	562	579	245	194	218	139	△36.4%
	組合持分損失等	46	36	49	184	336	308	107	△65.2%
	営業原価	1,744	3,069	1,182	1,395	1,780	1,465	1,022	△30.2%
営業総利益	1,690	1,827	993	1,125	1,090	348	571	63.8%	
3.	その他								
	営業収益	25	142	57	40	49	38	39	1.8%
	営業原価	6	5	6	5	7	5	7	25.4%
	営業総利益	19	136	51	34	41	32	32	△2.4%
合計									
	連結営業収益	3,926	5,403	2,475	2,760	3,089	1,978	1,752	△11.4%
	連結営業原価	1,750	3,074	1,188	1,401	1,788	1,470	1,030	△30.0%
	連結営業総利益	2,176	2,328	1,286	1,359	1,301	507	722	42.3%



プライベートエクイティ投資

成長性の高いベンチャー企業やスモールキャップ企業、事業承継問題を抱える中小・中堅企業に対し成長資金を投資します。
投資後は、当社が日本とアジアに有するリソースを活用して、企業の成長戦略を支援します。

戦略投資

当社の注力する事業テーマに関連する企業に、戦略的な投資を行います。
投資後は、当社が事業上のパートナーとなり、事業での協業を通じて、資金支援や営業支援を行います。

プロジェクト投資

メガソーラーを始めとする再生可能エネルギーや、介護施設などのヘルスケア、植物工場などのスマートアグリ、物流施設のディストリビューションセンタープロジェクトに投資をしています。
プロジェクトファイナンスによる融資資金を活用して投資の採算性を追求します。

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

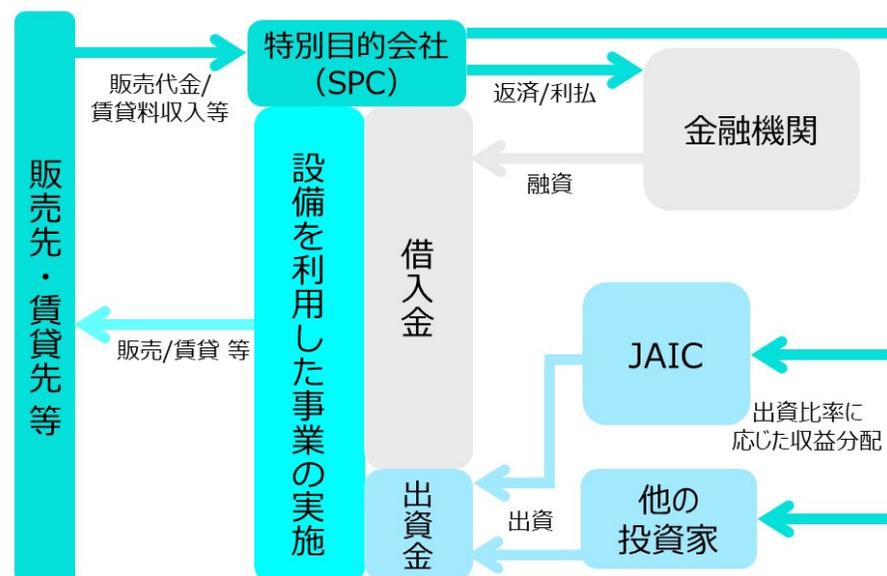
国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。

そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。
プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

収益構造-プロジェクト投資

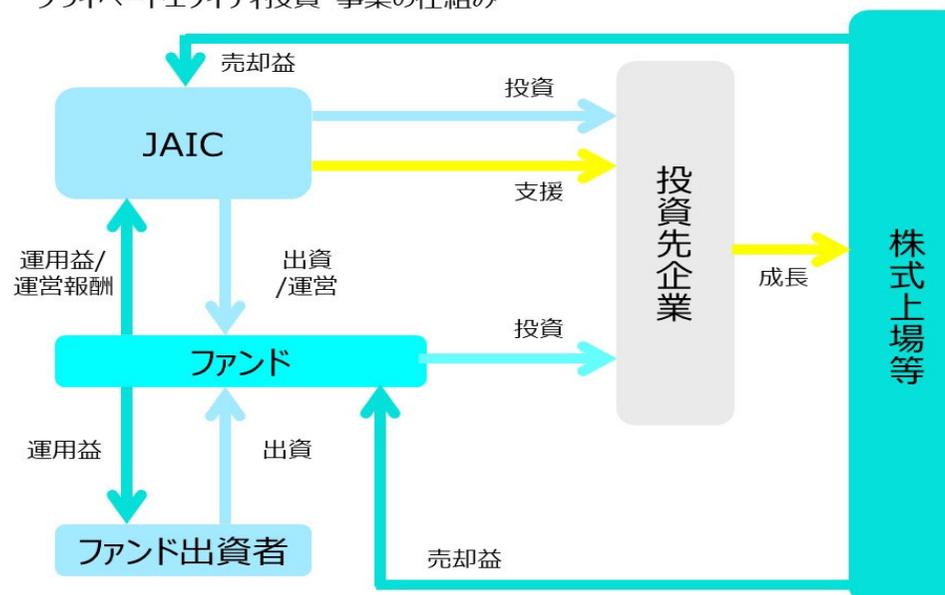
プロジェクト投資 事業の仕組み



- ✓ 発電所、工場、住居施設、倉庫といった設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、これらの設備を建設し、完成後の設備の運営により生み出される利益から投資に対する分配を受けます。また、完成後に設備を売却して利益を得る場合もあります。
- ✓ 再生可能エネルギー、ヘルスケア（高齢者向け施設、障がい者グループホーム）、スマートアグリ（植物工場）、ディストリビューションセンター（物流施設）等のプロジェクトへ投資しています。
- ✓ プロジェクトの建設・運営にかかる資金の多くを金融機関からの負債性資金で調達することで、少額の投資資金で高い採算性を追及している点が特徴です。
- ✓ 加えて、多様な分野のプロジェクトに機動的に投資を行うために、プロジェクトの企画や開発に精通したベンチャー企業とパートナーシップを組んでいる点も特徴です。

収益構造 - プライベートエクイティ投資

プライベートエクイティ投資 事業の仕組み



- ✓ 日本を含むアジア地域におけるベンチャー企業や中堅・中小企業等を中心とした有望企業へ投資し、育成・支援を通じて投資先企業の企業価値を高め、株式の売却益を得ることを目的とした投資です。また、投資活動の過程で得る企業のニーズを基にM&Aの仲介業務も行います。
- ✓ プロジェクト投資のパートナー企業に対する「戦略投資」と、それ以外の「フィナンシャル投資」の2つの種類があります。
- ✓ 戦略投資を行った企業には、株主としての支援だけではなく、パートナーとして共にプロジェクトを運営し、その成長を支援します。
- ✓ フィナンシャル投資の特徴は、長年の経験により蓄積された上場支援に加え、広いネットワークを活用した海外展開支援や営業支援を行う点です。そのために、中国の政府系機関やアジア諸国のパートナー企業と業務提携などを行い、アジアのネットワークを構築しています。

SDGsへの取り組み



SDGs投資会社である事を当社のコアバリューとし、経営理念に基づきSDGsを強く意識した投資活動を徹底する

Environment



再生可能エネルギープロジェクトのパートナー企業に投資をするとともに、再生可能エネルギープロジェクトへの投資を通じて環境負荷の軽減に貢献します。



Social



植物工場プロジェクトへの投資を通じて、農業人口の減少や高齢化による諸問題や気候変動、食の安全に対するソリューションを提供します。



物流施設プロジェクトへの投資を通じ、生産性の高い社会の実現や地域産業の活性化と雇用の創出に貢献します。



ヘルスケアプロジェクト（介護施設、障がい者グループホーム）への投資を通じて、包摂的かつ安全でより住みやすい社会の実現に向けたソリューションを提供します。



投資先企業が行うイノベーションや既存事業の再活性化により、生産性向上や労働力の補完を促進します。また、中小企業の事業承継を支援するファンドの運営により、包摂的かつ持続可能な産業化を促進します。



Governance



取締役7名中4名が独立社外取締役／独立社外取締役を取締役会議長として起用／任意設定機関「評価委員」により業務執行取締役の人事・報酬の評価を実施／取締役会の実効性の自己評価の実施と結果の開示／実効性のある監査等委員会監査や内部監査の実施

会社概要（2021年12月末現在）



会社名	日本アジア投資株式会社（略称）JAIC		
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号		
設立年月日	1981年7月10日		
資本金	5,426百万円		
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部（証券コード：8518）		
従業員数	単体21名／連結40名		
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資		
役員	取締役会長（独立社外）	川俣 喜昭	： 取締役会議長
	代表取締役社長	下村 哲朗	
	取締役（常務執行役員）	八田 正史	
	取締役	大森 和徳	： 監査等委員長
	取締役（独立社外）	安川 均	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	沼波 正	： 監査等委員
	取締役（独立社外）	片桐 春美	： 監査等委員



<https://jaic-vc.co.jp>

お問合せ先：管理グループ 岸本・丸山

ir@jaic-vc.co.jp